

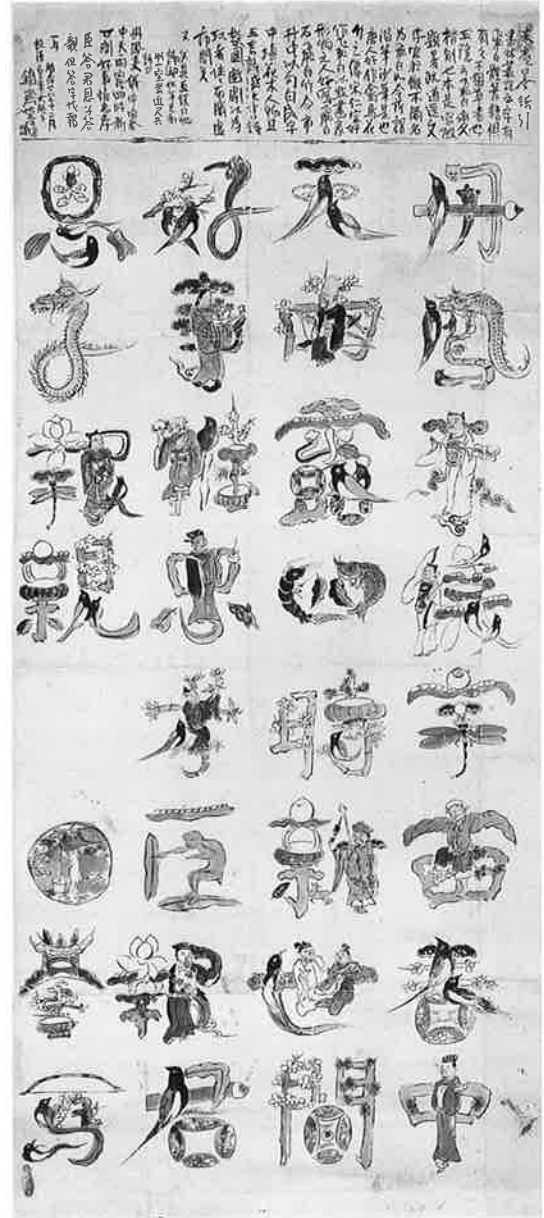
鉄齋の粉本

—本画にいたる道—

2009年5月9日(土)～8月2日(日)

- 第1回 5月9日(土)～6月7日(日)
- 第2回 6月10日(水)～7月5日(日)
- 第3回 7月8日(水)～8月2日(日)

10時～16時 月曜日休館 但し7月20日は開館 翌日休館
6月9日、7月7日(火)は展示替のため休館



38 (粉本) 勾白字詩七絶



124 (本画) 勾白字詩七絶

「粉本」の語源は中国唐時代にはじまり、元時代の夏文彦は『図繪寶鑑』に「古人の画稿、之を粉本と謂う」とし、中国では画稿のことを指す。日本においては絵師が後日の制作や研究、修学のために模写したものをいい、絵手本として伝えられた。

鉄斎は「万巻の書を読み、万里の路を行く」ことで画の題材を得て、古画学習によって画技と図様の多くを獲得した。今日我々が「鉄斎の粉本」と呼称する模写類は、特定の師を持たなかった鉄斎が、いかに古人のすぐれた画を模写して筆法、技法、構図や彩色を研究し、そして画趣や画格を吸収したかを伝える貴重な資料である。これらの原画は和漢を問わず各時代に及び、分野では仏画、山水、人物、花鳥、風俗、絵図など多岐に亘り、様式では大和絵、狩野派、写生派、琳派、文人画などあらゆる流派を網羅し、原画の筆者も極めて多彩である。絵画だけではなく墨跡、建造物、彫刻、工芸品、道具類、歴史資料も写しとって、幅広い興味の範囲を知ることができる。その形態は原寸通りに丁寧な模写したもの、描線だけを写したものの、淡彩を施したもの、色や文様を記したもの、簡単に縮小して模写した縮図などがある。さらに300冊を越える筆録（雑録集）には数多の縮図が画かれており、鉄斎の非凡な学習意欲を見ることができる。自身の絵画観を述べた「南画論」（鉄斎研究40-11）のなかで鉄斎は「…、名手ニテハ古来幾人モ無シ。…我邦ニテ画家の名手ハ狩野探幽、近キハ谷文晁ハ画家大家ナリ」（南画家は別に挙げています）という。幕府の奥絵師として江戸初期の絵画界の中心的位置に立った探幽は中国や日本の古画を縮写した膨大な「探幽縮図」を遺し、江戸文人画壇の重鎮となった文晁は古書画や古宝物の調査と模写を行って『集古十種』や『古画類聚』の編纂に従事した。貪欲な姿勢をもって古画学習を行い、そして大成したテキストを作成し、そうした経験を基にすぐれた画技と独自の画風を確立した画家を鉄斎は高く評価したのである。

鉄斎の粉本には先述のようにさまざまな形態があるが、いわゆる専門画家たちが絵画技術の修学のために画いた忠実な模本のようなものは見あたらない。《天池石壁図》(No77)などは丹念に摸してはいるものの、粉本全体を総覧すると、大掴みに構図や筆法を捉える力が長けている一方で画工としての訓練を受けてこなかった限界も見うけられる。それより特筆すべきは、摸した図に万巻の書物から原画や画家に関する一節を覚書したり、万里の路を行った現地で見聞した事柄を記していることであろう。あくなき学究心と好奇心は、学者と画家の両様の眼をもつ特異な粉本を生みだした。また《上田秋成像》(No.4)や《与謝蕪村像》(No113)には像主と関連する資料が合装されていて、鉄斎の考証学的な思考を窺うことができる。

ところで、現在確認されている鉄斎作品のうちで最も早い年紀があるものは、《叡山雪景図》(京都市美術館蔵)、《烟霞幽情図》(清荒神清澄寺蔵)など元治元年(1864)の款記をもつ29歳の作である。粉本では鉄斎が最初に画の手ほどきを受けたといわれる南北合派の窪田雪鷹の図を模写した《孔雀図》(No31)が最も若い20歳頃とされてきた。今回初公開の《雉子図》(No29)は「甲寅晩春日写」の書付があり、安政元年(1854)の鉄斎19歳の作を示している。同じ年号がある図はもう1点《劉玄德像》が確認されている。これらは29歳の基準作から遡ること10年、若年の拙い筆あとと画業のはじまりを見ることができる図として注目される。10代からはじまった古画学習は画風を確立した晩年に至ってもなお精力的に行われ、80歳代の年紀がある《蕭翼賺蘭亭序図》(No59)や《木食応其上人像》(No107)などが遺されている。

2010年、鉄斎美術館は35周年を迎える。今回で28回目を数える「鉄斎の粉本」展は1975年の開館の翌年から、鉄斎芸術の源泉を迎える企画展として3年を置かずに開催されてきた継続事業である。遺された膨大な粉本の全貌を紹介するにはしばしの猶予をいただきたいが、調査研究と表装が成った資料から順次公開するようにしている。展観では判明した原画は所蔵者の協力を得て写真パネルを制作して粉本と比較できるように、そして粉本から本画が辿れるものは併せて展示して、学びの跡とその展開をご覧いただけるように工夫している。

なお本出品目録では、現時点で350点を越える粉本のうちから『清荒神清澄寺所蔵富岡鉄斎作品総目録〈粉本・器玩・書簡 附新収絵画・書籍編〉』(1983)、過去の粉本展出品目録、あるいは30回にわたって連載された野沢(岩間)真知子氏の「富岡鉄斎の臨摹について」(日本美術新報社『萌春』、1978~1981)に未掲載の粉本を17点紹介する。こうした資料類が鉄斎研究のみならず様々な分野に新たな知見を提供するものになることを願っている。(柏木知子)



4 上田秋成像



53 摸錢選筆 時苗騎牛車



9 越中立山圖



106 摸文正筆 鳴鶴圖



7 摸奏金石筆 越中立山真景圖



6 摸狩野探幽筆 牛若丸圖



98 摸狩野探幽筆 弁慶圖



42 猿田彦神図



43 摸藤原長懿筆 猿田彦神図



110 摸土佐光信筆 日本武尊像



5 摸浮田一憲筆 牛祭図



115 摸伊藤若冲筆 龍図



30 摸田中訥言筆 京極宗輔図



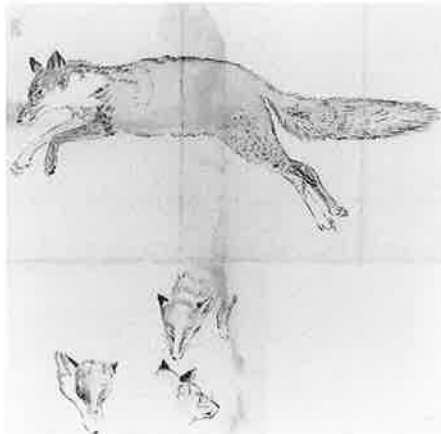
29 雉子図



101 鳳潭和尚像



73 摸谷文晁筆 竹溪六逸図



28 狐図

《出品目録》

番号	名 称	原画筆者等	制 作 年	年令	本 紙 寸 法	材質・彩色	形状		
1	曉読書楽図				178.0× 60.0	紙本 着色	掛 幅		
2	天逆鉾図巻		明治33	1900	65	27.0×498.0	紙本 着色	巻 子	
3	菖蒲の根魚と化する事の図	板谷広長			26.5× 39.8	紙本 墨画	掛 幅		
4	上田秋成画像 秋成稿本合装	甲賀文麗—京都 西福寺本			141.2× 33.0	紙本 淡彩	掛 幅		
5	牛祭図	浮田一蕙			103.0× 35.2	紙本 着色	掛 幅		
6	牛若丸図	狩野探幽			80.7× 74.0	紙本 墨画	掛 幅		
7	越中山山真景図	秦金石			135.0× 58.4	紙本 淡彩	掛 幅		
8	燕山香笈図	趙伯駒—鳥羽石隠			132.0× 43.5	紙本 淡彩	掛 幅		
9	越中山山図				54.2× 39.2	紙本 淡彩	掛 幅		
10	織田有楽斎像	京都 正伝永源院本			51.4× 46.7	紙本 墨画	掛 幅		
※	11	大伴旅人愛酒図	田中訥言		40.0× 57.0	紙本 着色	掛 幅		
※	12	小川可進像	武沢楊岸		64.7× 34.0	紙本 淡彩	掛 幅		
	13	大石大夫画像 拓本合装	有村鴻雪		77.3× 46.0	紙本 墨画	掛 幅		
	14	大台山図并説明書巻	野呂介石	明治8	1875	40	27.6×329.0	紙本 淡彩	巻 子
	15	オラウータン図			54.1× 48.2	紙本 着色	掛 幅		
	16	夏景山水図	張沢端—仇英		128.0× 56.0	紙本 淡彩	掛 幅		
☆	17	閑雲長像	馬元欽		77.2× 53.5	紙本 淡彩	掛 幅		
☆	18	観世音菩薩像	徐枋		118.2× 65.0	紙本 淡彩	掛 幅		
	19	観世音菩薩像	陳賢《観音図画帖》第18図		33.0× 49.4	紙本 着色	掛 幅		
☆	20	観世音菩薩像	木庵性瑫		67.3× 45.7	紙本 淡彩	掛 幅		
	21	魁星図(第二稿)	顔輝		131.4× 56.8	紙本 墨画	掛 幅		
	22	戯画卷	近衛家熙		24.8× 96.4	紙本 着色	巻 子		
	23	菊池容斎自画像	菊池容斎		27.0× 13.5	紙本 淡彩	掛 幅		
	24	伎芸天女図・訶利帝母図記			33.0×165.0	紙本 淡彩	巻 子		
	25	九疊墨戯図	池大雅		13.5×419.7	紙本 墨画	巻 子		
	26	玉面狸図			39.0× 53.0	紙本 着色	掛 幅		
	27	木村兼葭堂像	森徹山・『兼葭堂雜録』		39.0× 27.4	紙本 淡彩	台紙貼		
	28	狐図			65.4× 66.0	紙本 淡彩	掛 幅		
	29	雉子図		安政1	1854	19	95.2× 30.7	紙本 着色	掛 幅
	30	京極宗輔図	田中訥言		108.3× 25.9	紙本 着色	掛 幅		
	31	孔雀図	窪田雪鷹		102.0× 38.0	紙本 着色	掛 幅		
	32	古宇津の山道図巻		明治23	1890	55	28.4×196.3	紙本 墨画	巻 子
※	33	黄梁一炊図	渡辺崋山		158.0× 72.5	紙本 淡彩	掛 幅		
※	34	五祖荷鋤図	牧溪		66.0× 31.0	紙本 墨画	掛 幅		
	35	小堀遠州墓碑銘文並びに同像	書:松永昌三撰 画:松花堂昭乗		書画 37.0×278.5 32.0× 44.5	紙本 墨書 紙本 淡彩	巻 子		
※	36	小堀遠州像	松花堂昭乗		75.3× 29.5	紙本 淡彩	掛 幅		
	37	小むらさき像	宮川長春		79.0× 30.9	紙本 淡彩	掛 幅		
☆	38	勾白字詩七絶		明治28	1895	60	140.3× 60.2	紙本 着色	掛 幅
※	39	後醍醐天皇像	京都 大徳寺本		133.5× 74.5	紙本 淡彩	掛 幅		
☆	40	高士煎茶図			40.0× 27.3	紙本 淡彩	掛 幅		
☆	41	子育観音図	陳賢		52.6× 43.0	紙本 淡彩	掛 幅		
☆	42	猿田彦神図			38.7× 26.5	紙本 墨画	掛 幅		
	43	猿田彦神図	藤原長懿		39.3× 27.6	紙本 墨画	掛 幅		
☆	44	採薬図	胡靖		54.7× 31.5	紙本 墨画	掛 幅		
	45	山水図			141.3× 40.7	紙本 淡彩	掛 幅		
※	46	芝仙祝寿図	渡辺崋山		110.0× 33.6	紙本 淡彩	掛 幅		
	47	謝庵逸事巻	西村清狂—丹羽嘉言	明治27	1894	59	32.2×387.4	紙本 淡彩	巻 子
☆	48	釈尊出山図			83.8× 39.4	紙本 淡彩	掛 幅		
	49	集外歌仙図			29.4×334.6	紙本 淡彩	巻 子		

※	50	秋景山水図	范寛一汪葑				190.5×106.3	紙本	淡彩	掛	幅
	51	十八羅漢図	陳元藻				32.4×430.8	紙本	墨画	卷	子
☆	52	朱鍾馗図	東皐心越				107.0×66.0	紙本	朱画	掛	幅
	53	時苗騎牝牛図	銭選				24.4×67.2	紙本	淡彩	掛	幅
☆	54	釈迦図					100.2×35.8	紙本	淡彩	掛	幅
	55	釈迦如来像	谷文晁				58.0×27.8	紙本	淡彩	掛	幅
	56	十六羅漢図					54.5×147.0	紙本	淡彩		額
	57	十六羅漢図 傲牧溪和尚本	青木木米				134.4×48.0	紙本	墨画	掛	幅
	58	四十七義士画像	旧瑞光院本	明治15	1882	47	各 70.3×65.8	紙本	淡彩	双	幅
	59	蕭翼賺蘭亭序図	仇英	大正7	1918	83	77.8×53.1	紙本	淡彩	掛	幅
	60	將軍塚縁起	京都 高山寺				31.0×394.4	紙本	墨画	卷	子
	61	菅原道真像					69.3×45.4	紙本	淡彩	掛	幅
	62	石鼎連局図	郭翽				121.3×70.0	紙本	墨画	掛	幅
	63	雪景山水図					136.5×54.0	紙本	着色	掛	幅
※	64	千利休像	長谷川等伯				98.3×48.5	紙本	淡彩	掛	幅
	65	大黒天像	小田海僊				70.7×49.0	紙本	淡彩	掛	幅
※	66	平重盛像	伝藤原隆信				136.0×112.0	紙本	淡彩	掛	幅
	67	狸図	円山応挙	明治26	1893	58	38.3×53.5	紙本	着色	掛	幅
※	68	醍醐天皇像	京都 醍醐寺本				112.8×53.0	紙本	淡彩	掛	幅
※	69	達磨像	顔輝	大正9	1920	85	81.3×66.7	紙本	着色	掛	幅
	70	探幽画法	狩野探幽				21.0×293.6	紙本	墨画	卷	子
	71	鳥獣人物戯画丙巻	鳥羽僧正	明治16	1883	48	33.6×586.2	紙本	墨画	卷	子
※	72	竹虫図	趙昌				112.5×54.8	紙本	淡彩	掛	幅
	73	竹溪六逸図	谷文晁				81.8×85.7	紙本	墨画	掛	幅
	74	香椿図					27.6×39.6	紙本	着色	台紙貼	
	75	茶摘図	渡辺崋山				38.3×53.0	紙本	淡彩	掛	幅
※	76	手島塔庵像	京都 明倫舎本				65.2×50.0	紙本	着色	掛	幅
※	77	天池石壁図	黄大癡				132.0×53.3	紙本	淡彩	掛	幅
	78	天保九如图					131.6×54.3	紙本	淡彩	掛	幅
	79	天台石梁図					179.2×51.5	紙本	淡彩	掛	幅
※	80	陶淵明像	増山雪斎				79.1×38.7	紙本	淡彩	掛	幅
※	81	東寺什宝櫃画散楽図					28.0×39.0	紙本	着色	台紙貼	
	82	東坡笠履図					38.2×26.6	紙本	墨画	台紙貼	
※	83	豊臣秀吉像	アメリカ サンフランシスコ・アジア美術館本	明治40	1907	72	49.9×37.2	紙本	淡彩	掛	幅
※	84	陶淵明像	中山高陽				40.0×53.2	紙本	淡彩	掛	幅
	85	長刀鉾図		明治31	1898	63	38.0×26.7	紙本	着色	台紙貼	
	86	那智三瀑図	野呂介石	明治24	1891	56	123.8×38.4	紙本	墨画	掛	幅
	87	壳茶翁像	三熊思孝				70.3×49.7	紙本	淡彩	掛	幅
※	88	叭々鳥図	沈南蘋				78.2×55.0	紙本	着色	掛	幅
☆	89	番匠図	三熊思孝『東北院職人歌合』所載				26.9×38.2	紙本	墨画	掛	幅
	90	壳茶翁像					70.9×51.2	紙本	墨画	掛	幅
※	91	婆珊婆演底主夜神図	京都 檀王法林寺本				93.6×37.1	紙本	墨画	掛	幅
	92	琵琶湖図	池大雅				131.2×42.9	紙本	着色	掛	幅
	93	誹謗之図	小田海僊				35.5×69.2	紙本	墨画	掛	幅
※	94	武陵桃源図	董其昌				164.0×64.0	紙本	着色	掛	幅
	95	藤原惺窩市原村幽居図	狩野山雪				106.0×28.4	紙本	淡彩	掛	幅
	96	藤原不比等像		明治10	1877	42	54.0×41.7	紙本	墨画	掛	幅
※	97	糸瓜群虫図	伊藤若冲				121.0×51.5	紙本	淡彩	掛	幅
	98	弁慶図	狩野探幽				80.0×67.0	紙本	墨画	掛	幅
	99	墨竹図	呂端俊—谷口誦山				138.1×65.3	紙本	墨画	掛	幅
※	100	本因坊日海像	京都 寂光寺本	明治22	1889	54	47.7×20.4	紙本	淡彩	掛	幅
	101	鳳潭和尚像		明治15	1882	47	168.3×58.1	紙本	淡彩	掛	幅
	102	魔王大僧正図	狩野元信	明治29	1896	61	34.5×93.0	紙本	墨画	卷	子

	103	松尾芭蕉像								77.5×27.3	紙本 淡彩	掛幅
※	104	紫式部石山寺図	池大雅	明治29	1896	61				106.7×39.3	紙本 着色	掛幅
※	105	名花十友図	椿椿山							131.5×73.1	紙本 着色	掛幅
※	106	鳴鶴図	文正							各148.3×90.4	紙本 着色	双幅
※	107	木食応其上人像	和歌山 金剛峯寺本	大正11	1922	87				79.0×48.5	紙本 淡彩	掛幅
	108	耶馬溪図巻								40.0×165.0	紙本 墨画	巻子
※	109	山崎烈士最後酒宴図	立花梧庵							53.0×39.0	紙本 墨画	掛幅
	110	日本武尊像 書付合装	土佐光信							52.8×36.1	紙本 淡彩	掛幅
	111	叡宗礼画模本巻	叡宗礼一渡辺華山一 村田香谷							49.2×511.4	紙本 着色・墨画	巻子
※☆	112	養老瀑図	高久隆古							131.5×42.5	紙本 淡彩	掛幅
※	113	与謝蕪村像 蕪村句短冊合装	呉春							62.8×20.4	紙本 淡彩	掛幅
※	114	頼山陽像	義亮							37.7×31.6	紙本 淡彩	掛幅
	115	龍図	伊藤若冲							118.6×27.9	紙本 墨画	掛幅
※	116	六祖像	土佐光起一田中訥言	明治24	1891	56				72.2×27.4	紙本 淡彩	掛幅
※	117	渡辺華山像	椿椿山							38.8×26.8	紙本 淡彩	掛幅

※は原画をカラー写真にして展示、☆は本画を併せて展示。

[本画]

番号	名 称	制 作 年	年 齢	本 紙 寸 法	材 質・彩 色	形 状	備 考
118	猿田彦神図		40代	131.4×51.5	紙本 淡彩	掛幅	
119	職人尽番匠図		50代	109.0×37.8	絹本 着色	掛幅	
120	大嘗会図・釈奠図		50代	各130.6×60.3	絹本 着色	双幅	
121	養老瀑図		50代	106.0×37.0	絹本 着色	掛幅	
122	観世音菩薩育子図	明治33	1900	65	127.3×51.0	絹本 着色	掛幅
123	観世音菩薩像		60代	134.5×70.0	紙本 墨画	掛幅	
124	勾白字詩七絶		60代	112.0×51.2	絹本 着色	掛幅	
125	観世音菩薩像	明治39	1906	71	137.8×70.5	紙本 淡彩	掛幅
126	寿山福海図・神仙採薬図	明治40	1907	72	各128.4×40.7	絹本 着色	双幅
127	鍾馗騎虎図	大正3	1914	79	136.4×54.8	紙本 着色	掛幅
128	釈尊出山図		70代	180.0×47.8	紙本 着色	掛幅	
129	呂僊翁自写図	大正7	1918	83	145.0×51.8	絹本 着色	掛幅 個人蔵
130	東坡煎茶図	大正10	1921	86	133.0×32.6	紙本 淡彩	掛幅
131	伏魔大帝関雲長像	大正10	1921	86	132.8×51.5	紙本 着色	掛幅 個人蔵

[参考資料]

番号	名 称	筆 者	本 紙 寸 法	材 質・彩 色	形 状	備 考
132	呂洞賓僊翁図		121.2×57.7	紙本 墨拓	掛幅	

[原画の写真パネル] 番号は粉本リストを参照

番号	名 称	筆 者	所 蔵 者
11	大伴旅人愛酒図	田中訥言	大阪 逸翁美術館
12	小川可進像	武沢楊岸	京都 小川後楽堂
17	関雲長像	馬元欽	東京 松濤美術館(橋本コレクション)
33	黄梁一炊図	渡辺華山	個人
34	五祖図(狩野派模本唐画卷 巻第二十のうち)		東京国立博物館
36	小堀遠州像	松花堂昭乗	京都 孤篷庵
39	後醍醐天皇像		京都 大徳寺
46	芝仙祝寿図	渡辺華山	愛知 田原市博物館
50	秋景山水図	汪葑	京都市立芸術大学
64	千利休像	長谷川等伯	京都 不審菴
66	平重盛像	伝藤原隆信	京都 神護寺

68	醍醐天皇像		京都 醍醐寺
69	達磨像	顔輝	京都 広誠院
72	竹虫図	伝趙昌	東京国立博物館
76	手島堵庵像		京都 明倫舎
77	天池石壁図	黄大癡	大阪 藤田美術館
80	陶淵明像	増山雪斎	個人
81	東寺什宝櫃画散楽図		静岡 MOA美術館
83	豊国明神像		アメリカ サンフランシスコ・アジア美術館
84	陶淵明像	山中高陽	個人
88	草花群禽図	沈南蘋	個人
91	主夜神尊図		京都 檀王法林寺
94	武陵桃源図	董其昌	京都 六波羅蜜寺
97	糸瓜群虫図	伊藤若冲	京都 細見美術館
100	本因坊日海像		京都 寂光寺
105	名花十友図	椿椿山	個人
106	鳴鶴図	文正	京都 相国寺
107	木食応其上人像		和歌山 金剛峯寺
109	山崎烈士最後酒宴図	立花梧庵	京都大学総合博物館
112	養老瀑図	高久隆古	兵庫 颯川美術館
113	蕪村画像	呉春	個人
114	頼山陽像	義亮	京都 頼山陽旧跡保存会
116	六祖大師三幅対	田中訥言	京都 三秀院
117	渡辺華山像	椿椿山	愛知 田原市博物館

・ 出品作品は期間中3回にわけて展示します。但し一部作品は重複することがあります。
第1回 5月9日(土)～6月7日(日) 第2回 6月10日(水)～7月5日(日) 第3回 7月8日(水)～8月2日(日)

・ 下記の日程で学芸員による展示説明会を行います。
5月23日・6月20日・7月11日 各土曜日の午後1時30分より

・ 今回の展覧会に際して下記の方々にご協力を賜りました。記して感謝いたします。個人のご芳名は控えさせていただきます。(敬称略)
相国寺 承天閣美術館 檀王法林寺
個人蔵 No.30. 79. 129. 131

・ 次回展覧会 「鉄斎の書」 平成21年10月7日(水)～12月13日(日)

8月3日(月)～10月6日(火)は館内工事のため休館します。

清荒神清澄寺 鉄斎美術館 〒665-0837 宝塚市米谷字清シ一番地
TEL (0797) 84-9600
FAX (0797) 84-6699
<http://www.kiyoshikojin.or.jp>

平成21年4月28日 印施